

<骨折り日記～患者体験で感じたこと～>

あさひ鍼灸院 窪田哲夫さん

- ・10月29日日曜日階段下降中に踏み外し、左足関節（脛骨・腓骨遠位端）骨折
 - ・即入院、シーネ固定、手術の段取り（検査、スケジュール）
 - ・手術に向けて、おなかの中の物を全部出さないと行けない→浣腸、大人になって初めてのおむつ
 - ・アクセサリは取らなければならない→結婚指輪が取れない！
 - ・11月1日に手術 麻酔導入剤で眠くなっているところを SNS でも発信
 - ・下半身麻酔で手術 下半身がほんわりあったかくなる 下半身のみの麻酔なので、先生の会話、手術の音、「あっ！」という声もわかる・・・
 - ・骨の手術は日曜大工の仕事のよう。のみ、ハンマー、ドリルの音が聞こえる。
 - ・入れる管（点滴）、出す管（導尿）・・・管にんげん 生かされているという感覚
 - ・骨接ぎにスクリューを使用 材質はチタン：軽い！
 - ・皮膚を破ったら複雑骨折、破らなかったら単純骨折
 - ・血栓予防のエアポンプ
 - ・11月9日リハビリ開始！管、冷却を取る！抜糸！自由の身に
 - ・病院の朝食に近所のパン！
 - ・昼食におでん！おいしかった
-
- ・入院して思ったこと：コロナ等で家族でも面会禁止、外の世界と断絶→助かったのが SNS
 - ・病院での生活：毎朝6時頃にカーテンを開けられる 体内時計を整えるためだそう
 - ・11月25日 面会可能に 一人15分
 - ・清拭と入浴：かゆいところがつらい
 - ・病室の掃除：掃除は丁寧に、院内感染（ウイルス、カビ）防止のためだそう
 - ・12月1日退院！骨密度測定 骨密度低下 足の付け根は要注意と言われる 骨粗しょう症の治療
 - ・地域包括ケア病棟は一般病棟よりリハビリが手厚い（1日2回）：早期社会復帰を目指している
 - ・左足首が拘縮・背屈障害がでてしまう 歩きづらい 今でもリハビリ継続
-
- ・周囲、専門職への感謝しかない 支えられて生きている

<意見交換>

- ・同じ境遇の人へ伝えたいと思って SNS で発信
- ・入院を通じて、専門職や家族、支えてくれるすべての人に感謝

- ・医療はチーム医療で成り立っている
- ・障がいがある人の気持ちがわかった
- ・「まさかこうなると思っていなかった」ことに気付けた

患者としての貴重な体験を、同じ境遇の人のために発信され、身近な上方として参考になった方も多かったと思います。

また、同じく経験をされた方からのコメントもまた、気付きの多いものでした。

医療への感謝、周囲への感謝・・・まさかのことは急にやってきます、普段から医療と近しく距離を取っておいてほしいものです。

窪田さん、多くの気づきを本当にありがとうございます！

事務局で、今回の話を受けてできそうなことがあればどんどんつなげていこうと思います。どうぞよろしく願いいたします。

<活動の共有>

- ・大人の遠足（コミバスを利用し、市内の名所を巡るツアー）第 28 弾は 3 月 17 日日曜日 7:45 久保田酒店駐車場前集合、第 29 弾は 4 月 7 日日曜日 7:45 久保田酒店駐車場前集合 ※行きたい場所募集中！
- ・3 月 17 日日曜日 15 時 30 分～越前たけふ駅にて越前漆掻き唄の会
- ・3 月 26 日火曜日 18 時 30 分～さば主総会 17 時 30 分からさば焼きも！